

2020年10月30日

上場会社名 京成電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9009 URL <https://www.keisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 敏也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長 (氏名) 湯本 康人

TEL 047-712-7100

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

2020年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	99,501	27.9	12,015		19,928		18,278	
2020年3月期第2四半期	138,007	6.2	19,117	7.7	28,431	5.7	21,176	3.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 19,047百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 21,773百万円 (2.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	108.38	
2020年3月期第2四半期	125.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	902,711	408,413	43.3
2020年3月期	905,716	428,664	45.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 390,521百万円 2020年3月期 411,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		8.50		8.50	17.00
2021年3月期		8.50			
2021年3月期(予想)				8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	219,100	20.3	13,700		26,700		26,200		155.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	172,411,185 株	2020年3月期	172,411,185 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,877,519 株	2020年3月期	3,704,399 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	168,657,320 株	2020年3月期2Q	169,269,491 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は異なる結果となる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1.(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期決算補足説明資料は、当四半期決算短信に添付しております。

3.当社は、2020年11月10日(火)に機関投資家・アナリスト向けWeb決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)

2021年3月期の個別業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,100	△28.9	△2,600	—	100	△99.5	800	△94.6	4.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	P4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P5
(1) 四半期連結貸借対照表	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P7
四半期連結損益計算書	P7
四半期連結包括利益計算書	P8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P9
(継続企業の前提に関する注記)	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P9
(セグメント情報)	P9
(追加情報)	P9
3. 四半期決算補足説明資料	P10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」）の影響により、急速に減少した個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、企業収益は大幅な減少が続いており、雇用情勢に弱さが見られるなど、極めて厳しい状況にあります。

このような状況の中で、当社グループは、お客様及び従業員への感染防止の措置を講じた上で需要動向を踏まえ事業を運営しております。また、中期経営計画E4プランの基本方針である「グループ経営強化による収益拡大の確実な実現」、「安全かつ安心なサービスの提供」、「社会的要請に対応した経営推進体制の確立」に基づき諸施策を推進してまいりました。

しかしながら、感染症の世界的大流行による訪日外国人の激減に加え、外出の自粛等による消費の急激な縮小等の影響を受け、営業収益は995億1百万円（前年同期比27.9%減）となり、営業損失は120億1千5百万円（前年同期は営業利益191億1千7百万円）となりました。経常損失は、持分法投資損失の計上により199億2千8百万円（前年同期は経常利益284億3千1百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は182億7千8百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益211億7千6百万円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

感染症対策として、業界団体のガイドライン等に基づき、従業員のマスク着用、消毒、換気に加え、お客様が手を触れる箇所を中心に鉄道・バス車両等への抗菌・抗ウイルス加工等を実施いたしました。

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、成田空港駅にホームドアを設置したほか、東中山駅の耐震補強工事等を進めました。

大規模工事については、葛飾区内の押上線連続立体化工事において、京成立石駅の仮駅舎新設工事を推進いたしました。

営業面では、感染症の影響に伴う社会情勢を踏まえ、5月よりスカイライナーの一部運休を実施いたしました。また、押上・都営浅草線・京急線方面における成田空港アクセスの更なる利便性向上のため、4月より当面の間、スカイライナーの一部列車の青砥駅停車を開始いたしました。さらに、成田スカイアクセス開業10周年を記念して、記念ヘッドマークを掲出した車両を運行したほか、記念乗車券の発売等を実施いたしました。このほか、期間限定で成田空港発着航空利用者を対象にスカイライナー券を割引価格で発売するキャンペーン及び京成線全線1日乗車券の販売を実施するなど、需要の喚起を図りました。

バス事業では、感染症の影響に伴う成田空港発着航空便の運休・減便及び東京ディズニーリゾートの臨時休業等を踏まえ、高速バス路線において運休・減便を実施いたしました。7月の東京ディズニーリゾートの運営再開に伴い、関係路線の運行を徐々に再開しております。また、一般乗合バス路線においては、成田市内等で新規路線の運行を開始したほか、混雑緩和・分散利用促進の取り組みとして、東京ベイシティ交通株式会社において車内混雑状況の情報提供を開始いたしました。

タクシー事業では、帝都自動車交通株式会社において、AIとドライブレコーダーの機能を活用して交通事故削減を支援するシステムを導入し、更なる安全輸送の提供に努めたほか、乗務員を介さずに決済可能なセルフレジ型端末を導入し、お客様サービスの向上に努めました。

しかしながら、感染症の影響を受けた外出の自粛や訪日外国人の激減等により、営業収益は491億8千1百万円（前年同期比38.7%減）となり、営業損失は154億1百万円（前年同期は営業利益136億7千7百万円）となりました。

<流通業>

緊急事態宣言の発出を受けた休業要請等を背景に、京成百貨店や京成バラ園等において営業を一時休止いたしました。感染症対策を講じた上で営業を順次再開いたしました。

百貨店業では、日立市の商業施設内において、3月にサテライトショップ「KEiSEI & sole」をオープンいたしました。

ストア業では、株式会社京成ストアにおいて八千代市等での移動訪問販売事業を開始いたしました。また、株式

会社コミュニティ京成においてコンビニエンスストアによる収益拡大を図るため、新鎌ヶ谷駅構内及び千葉ニュータウン中央駅ホーム上に新店舗をオープンいたしました。

しかしながら、感染症の影響を受けた外出の自粛等により、営業収益は294億3千5百万円（前年同期比12.9%減）となり、営業利益は2千1百万円（前年同期比92.1%減）となりました。

<不動産業>

不動産賃貸業では、2021年度のオープンを目指し、墨田区江東橋と墨田区押上において、「京成リッチモンドホテル」2号店、3号店の工事を推進しております。

不動産販売業では、今年度中に引き渡し予定の中高層住宅「サングランデ八王子」及び「サングランデ本八幡」を販売いたしました。

しかしながら、営業収益は106億5千7百万円（前年同期比20.8%減）となり、営業利益は40億9千5百万円（前年同期比11.3%減）となりました。

<レジャー・サービス業>

レジャー・サービス業では、緊急事態宣言の発出を受けた休業要請等を背景に、映画館や筑波山ケーブルカー等において営業を一時休止いたしました。感染症対策を講じた上で営業を順次再開いたしました。また、京成ホテルミラマーレ、水戸京成ホテル及び京成リッチモンドホテル東京門前仲町において、テレワーク需要に対応するためのデイユースプランを販売いたしました。さらに、京成トラベルサービス株式会社において、感染症の状況を考慮した上で、京成線内を特別行路で運行する各種のイベント列車ツアーを実施し、好評を博しました。このほか、株式会社イウォレ京成において、フランチャイズ契約を締結し「100時間カレーEXPRESS ららぽーと東京ベイ店」等の2店舗の営業を開始いたしました。

しかしながら、感染症の影響を受けた外出の自粛等により、営業収益は27億9千4百万円（前年同期比40.1%減）となり、営業損失は12億5千4百万円（前年同期は営業損失3千5百万円）となりました。

<建設業>

建設業では、鉄道施設改良工事や当社グループ外から受注している各種工事を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は105億1千6百万円（前年同期比3.5%減）となりましたが、営業利益は5億1千1百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比30億4百万円（0.3%）減の9,027億1千1百万円となりました。これは、持分法適用会社株式の減少により「投資有価証券」が減少したことによるものです。

負債合計は、前期末比172億4千5百万円（3.6%）増の4,942億9千8百万円となりました。これは、有利子負債が増加したことによるものです。

純資産合計は、前期末比202億5千万円（4.7%）減の4,084億1千3百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により「利益剰余金」が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染症が業績に与える影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、第2四半期までの実績を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、公表することといたしました。

当社グループの足元の業績は、依然として厳しい状況が続くものの、緊急事態宣言及び外出自粛要請の解除以降、緩やかな回復基調にあります。従って、今後の見通しについては、感染拡大による再度の緊急事態宣言発出等による社会的制限が実施されないことを前提として、足元の回復基調を踏まえ、下期以降も緩やかに需要が回復するものと仮定し、業績予想を算定いたしました。

詳細については、添付資料12ページ「3. 四半期決算補足説明資料 連結業績予想」をご覧ください。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、今後の事業展開と経営基盤の強化安定に必要となる内部留保資金の確保や業績等を勘案しながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。

2021年3月期の配当予想については、新型コロナウイルス感染症の影響により連結業績予想の合理的な算定が困難であったことから未定としておりましたが、当期の第2四半期連結業績及び連結業績予想を踏まえ、厳しい状況であるものの、上記基本方針に則り以下のとおり決定いたしました。

2021年3月期の1株当たり中間配当金につきましては、前期実績と同額の8円50銭とすることといたしました。また、期末配当予想は、前期実績と同額の1株当たり8円50銭とすることといたしました。これにより、1株当たり年間配当予想は、17円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,084	37,415
受取手形及び売掛金	22,129	18,388
分譲土地建物	6,861	7,722
商品	2,187	2,020
仕掛品	799	1,359
原材料及び貯蔵品	3,053	3,299
その他	11,940	13,905
貸倒引当金	△27	△19
流動資産合計	74,027	84,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	290,454	285,461
機械装置及び運搬具(純額)	24,978	22,595
土地	180,720	183,030
リース資産(純額)	38,635	39,327
建設仮勘定	37,272	38,724
その他(純額)	3,284	3,056
有形固定資産合計	575,345	572,195
無形固定資産		
リース資産	1,214	1,136
その他	10,683	10,731
無形固定資産合計	11,898	11,867
投資その他の資産		
投資有価証券	226,131	213,441
長期貸付金	371	354
繰延税金資産	13,534	16,375
その他	4,313	4,064
貸倒引当金	△145	△145
投資その他の資産合計	244,204	234,091
固定資産合計	831,448	818,155
繰延資産	239	463
資産合計	905,716	902,711

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,147	15,440
短期借入金	55,832	54,544
コマーシャル・ペーパー	16,000	—
1年内償還予定の社債	10,000	—
リース債務	6,442	6,653
未払法人税等	4,500	2,394
前受金	24,406	26,731
賞与引当金	3,409	3,477
役員賞与引当金	53	13
その他	33,273	25,810
流動負債合計	176,065	135,065
固定負債		
社債	50,450	90,450
長期借入金	128,276	147,511
鉄道・運輸機構長期未払金	46,518	45,025
リース債務	26,913	27,544
繰延税金負債	1,572	1,690
役員退職慰労引当金	358	293
退職給付に係る負債	35,600	35,560
その他	11,297	11,157
固定負債合計	300,987	359,232
負債合計	477,052	494,298
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,365	28,385
利益剰余金	350,556	331,362
自己株式	△5,532	△6,184
株主資本合計	410,192	390,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,390	1,615
繰延ヘッジ損益	16	1
退職給付に係る調整累計額	△1,570	△1,463
その他の包括利益累計額合計	837	154
非支配株主持分	17,634	17,891
純資産合計	428,664	408,413
負債純資産合計	905,716	902,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業収益	138,007	99,501
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	99,663	93,402
販売費及び一般管理費	19,225	18,114
営業費合計	118,889	111,517
営業利益又は営業損失(△)	19,117	△12,015
営業外収益		
受取利息	70	121
受取配当金	317	213
雇用調整助成金	—	1,783
持分法による投資利益	9,770	—
雑収入	706	1,039
営業外収益合計	10,865	3,158
営業外費用		
支払利息	1,174	1,214
持分法による投資損失	—	9,415
雑支出	377	440
営業外費用合計	1,551	11,070
経常利益又は経常損失(△)	28,431	△19,928
特別利益		
工事負担金等受入額	195	329
その他	1	—
特別利益合計	197	329
特別損失		
臨時休業による損失	—	306
固定資産圧縮損	170	279
固定資産除却損	231	145
その他	—	53
特別損失合計	401	785
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	28,228	△20,384
法人税、住民税及び事業税	6,011	826
法人税等調整額	72	△2,834
法人税等合計	6,084	△2,007
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,143	△18,377
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	967	△98
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,176	△18,278

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,143	△18,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	△394
退職給付に係る調整額	79	118
持分法適用会社に対する持分相当額	△358	△393
その他の包括利益合計	△370	△670
四半期包括利益	21,773	△19,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,807	△18,961
非支配株主に係る四半期包括利益	965	△85

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	79,822	33,527	10,619	3,408	8,180	2,447	138,007	—	138,007
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	369	265	2,835	1,256	2,714	1,831	9,273	△9,273	—
計	80,192	33,793	13,454	4,665	10,894	4,279	147,280	△9,273	138,007
セグメント利益又は損失(△)	13,677	266	4,615	△35	485	183	19,191	△73	19,117

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	48,977	29,190	8,155	2,184	8,929	2,064	99,501	—	99,501
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	203	244	2,502	610	1,587	1,375	6,524	△6,524	—
計	49,181	29,435	10,657	2,794	10,516	3,440	106,026	△6,524	99,501
セグメント利益又は損失(△)	△15,401	21	4,095	△1,254	511	35	△11,992	△22	△12,015

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

当第2四半期連結会計期間において、会計上の見積りを行う上での、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定を変更しております。

新型コロナウイルス感染症の影響については、感染拡大による再度の緊急事態宣言発出等による社会的制限が実施されないことを前提として、2021年度まで影響が一定程度継続するものと仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の判断にあたっては、当該仮定による会計上の見積りを行っております。

なお、当該変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の影響がさらに長期化した場合は、連結財務諸表に重要な影響を与える可能性があります。

3. 四半期決算補足説明資料

■連結損益計算書

・新型コロナウイルス感染症の影響による減収額:465億円
 (内訳:鉄道事業200億円、バス事業130億円、タクシー事業50億円、流通業45億円、その他40億円)
 ・第2四半期(7~9月)は、依然として厳しい状況が続くものの、回復基調

単位:百万円、%		2019.2Q 実績	2020.2Q		増減	率	
			1Q (4~6月)	2Q (7~9月)			実績
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
運輸業	営業収益	80,192	21,661	27,520	49,181	△ 31,010	△ 38.7
	営業利益	13,677	△ 10,062	△ 5,338	△ 15,401	△ 29,078	-
流通業	営業収益	33,793	13,881	15,553	29,435	△ 4,358	△ 12.9
	営業利益	266	27	△ 6	21	△ 245	△ 92.1
不動産業	営業収益	13,454	5,530	5,126	10,657	△ 2,796	△ 20.8
	営業利益	4,615	2,083	2,011	4,095	△ 519	△ 11.3
レジャー・サービス業	営業収益	4,665	1,245	1,548	2,794	△ 1,871	△ 40.1
	営業利益	△ 35	△ 676	△ 578	△ 1,254	△ 1,218	-
建設業	営業収益	10,894	5,527	4,989	10,516	△ 378	△ 3.5
	営業利益	485	381	129	511	25	5.3
その他の事業	営業収益	4,279	1,411	2,029	3,440	△ 838	△ 19.6
	営業利益	183	△ 28	63	35	△ 148	△ 80.9
小計	営業収益	147,280	49,258	56,768	106,026	△ 41,254	△ 28.0
	営業利益	19,191	△ 8,274	△ 3,718	△ 11,992	△ 31,184	-
連結修正	営業収益	△ 9,273	△ 2,808	△ 3,715	△ 6,524	2,748	-
	営業利益	△ 73	△ 11	△ 11	△ 22	51	-
連結	営業収益	138,007	46,449	53,052	99,501	△ 38,505	△ 27.9
	営業利益	19,117	△ 8,285	△ 3,729	△ 12,015	△ 31,133	-
営業外収益		10,865	743	2,414	3,158	△ 7,706	△ 70.9
営業外費用		1,551	8,020	3,050	11,070	9,519	613.6
経常利益		28,431	△ 15,562	△ 4,365	△ 19,928	△ 48,359	-
特別利益		197	216	112	329	131	66.4
特別損失		401	554	230	785	384	95.8
税金等調整前四半期純利益		28,228	△ 15,900	△ 4,484	△ 20,384	△ 48,613	-
法人税	法人税等	6,011	494	331	826	△ 5,185	△ 86.3
	同調整額	72	△ 2,255	△ 578	△ 2,834	△ 2,907	-
	計	6,084	△ 1,761	△ 246	△ 2,007	△ 8,092	-
四半期純利益		22,143	△ 14,139	△ 4,237	△ 18,377	△ 40,520	-
非支配株主に帰属する四半期純利益		967	△ 173	75	△ 98	△ 1,065	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		21,176	△ 13,965	△ 4,313	△ 18,278	△ 39,455	-

営業外収益

持分法による投資利益 9,770 —

雇用調整助成金 — 1,783

営業外費用

持分法による投資損失 — 9,415

■連結有利子負債残高

当面の運転資金は、金融機関からの借入及び社債の発行により調達し、手元流動性を確保

単位:百万円	2020/3末	2020/9末	増減	備考
借入金	184,108	202,056	17,947	長期借入金(1年内返済分含む)+18,831
社債	60,450	90,450	30,000	発行+40,000、償還△10,000
コマーシャル・ペーパー	16,000	—	△ 16,000	
鉄道・運輸機構未払金	48,427	46,988	△ 1,439	
リース債務	33,355	34,197	842	
合計	342,342	373,692	31,350	
(参考)現金及び預金	27,084	37,415	10,331	

Ⅰ主要セグメントの内訳

・運輸業

単位:百万円、%		2019.2Q 実績	2020.2Q 実績		増減	率	
			1Q (4~6月)	2Q (7~9月)			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
鉄道事業	営業収益	42,533	10,709	13,001	23,710	△ 18,823	△44.3
	営業利益	10,752	△ 4,271	△ 2,336	△ 6,608	△ 17,360	—
バス事業	営業収益	24,012	6,572	8,903	15,476	△ 8,536	△35.5
	営業利益	2,755	△ 4,088	△ 2,145	△ 6,234	△ 8,989	—
タクシー事業	営業収益	13,645	4,379	5,614	9,994	△ 3,651	△26.8
	営業利益	169	△ 1,702	△ 856	△ 2,558	△ 2,727	—
運輸業	営業収益	80,192	21,661	27,520	49,181	△ 31,010	△38.7
	営業利益	13,677	△ 10,062	△ 5,338	△ 15,401	△ 29,078	—

・流通業

単位:百万円、%		2019.2Q 実績	2020.2Q 実績		増減	率	
			1Q (4~6月)	2Q (7~9月)			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
ストア業	営業収益	18,529	8,868	8,876	17,744	△ 784	△4.2
	営業利益	144	116	122	239	95	65.8
百貨店業	営業収益	12,554	3,884	5,626	9,510	△ 3,043	△24.2
	営業利益	11	△ 152	△ 52	△ 204	△ 215	—
その他	営業収益	2,709	1,129	1,050	2,180	△ 529	△19.5
	営業利益	110	63	△ 77	△ 14	△ 124	—
流通業	営業収益	33,793	13,881	15,553	29,435	△ 4,358	△12.9
	営業利益	266	27	△ 6	21	△ 245	△92.1

・不動産業

単位:百万円、%		2019.2Q 実績	2020.2Q 実績		増減	率	
			1Q (4~6月)	2Q (7~9月)			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
賃貸業	営業収益	6,483	3,579	3,739	7,319	835	12.9
	営業利益	3,640	2,044	1,999	4,043	402	11.1
販売業	営業収益	4,806	641	626	1,267	△ 3,538	△73.6
	営業利益	860	△ 56	4	△ 52	△ 912	—
管理業	営業収益	2,165	1,310	760	2,071	△ 93	△4.3
	営業利益	113	95	8	104	△ 9	△8.5
不動産業	営業収益	13,454	5,530	5,126	10,657	△ 2,796	△20.8
	営業利益	4,615	2,083	2,011	4,095	△ 519	△11.3

■連結業績予想

■前提

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による再度の緊急事態宣言発出等による社会的制限は実施されない。
- ・成田空港輸送は、2021年夏季の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、同年6月にかけて段階的に回復する。
- ・定期外輸送(成田空港輸送を除く)は、下期以降は緩やかに回復し、2021年6月には例年並みの水準に回復する。
- ・定期輸送は、テレワーク等による移動需要の減少はあるものの、2021年6月にかけて例年の9割程度まで回復する。
- ・その他は、足元の回復基調を踏まえ、下期以降も緩やかに需要が回復する。

■連結損益計算書

単位:百万円、%		2019通期 実績	2020通期 業績予想		増減	率	
			上期実績	下期予想			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
運輸業	営業収益	161,089	49,181	63,618	112,800	△ 48,289	△ 30.0
	営業利益	17,921	△ 15,401	△ 5,398	△ 20,800	△ 38,721	-
流通業	営業収益	68,321	29,435	32,164	61,600	△ 6,721	△ 9.8
	営業利益	389	21	△ 121	△ 100	△ 489	-
不動産業	営業収益	24,648	10,657	14,642	25,300	651	2.6
	営業利益	8,446	4,095	4,204	8,300	△ 146	△ 1.7
レジャー・サービス業	営業収益	10,524	2,794	3,905	6,700	△ 3,824	△ 36.3
	営業利益	△ 140	△ 1,254	△ 845	△ 2,100	△ 1,959	-
建設業	営業収益	27,245	10,516	15,283	25,800	△ 1,445	△ 5.3
	営業利益	1,617	511	288	800	△ 817	△ 50.5
その他の事業	営業収益	9,977	3,440	5,159	8,600	△ 1,377	△ 13.8
	営業利益	316	35	164	200	△ 116	△ 36.8
小計	営業収益	301,806	106,026	134,773	240,800	△ 61,006	△ 20.2
	営業利益	28,550	△ 11,992	△ 1,707	△ 13,700	△ 42,250	-
連結修正	営業収益	△ 27,010	△ 6,524	△ 15,175	△ 21,700	5,310	-
	営業利益	△ 230	△ 22	22	0	230	-
連結	営業収益	274,796	99,501	119,598	219,100	△ 55,696	△ 20.3
	営業利益	28,320	△ 12,015	△ 1,684	△ 13,700	△ 42,020	-
経常利益		41,705	△ 19,928	△ 6,771	△ 26,700	△ 68,405	-
親会社株主に帰属する当期純利益		30,110	△ 18,278	△ 7,921	△ 26,200	△ 56,310	-
営業外収益							
	雇用調整助成金	—			2,700		
	持分法による投資利益	13,950			—		
営業外費用							
	持分法による投資損失	—			15,100		

■経費・設備投資の抑制

- ・運輸業において、修繕費や広告宣伝費など、不要不急の経費を削減。営業費は**前期比149億円の減少**。
(内訳:鉄道事業59億円、バス事業57億円、タクシー事業33億円、連結範囲の変更による影響を除く)
- ・設備投資については、中長期的な収益拡大に向けた戦略投資、安全輸送に係る投資は継続して実施するものの、
その他投資案件の選別・見送りを実施。連結ベースで**前期比183億円の削減**。
- ・経費・設備投資の抑制により、2020年度末の連結有利子負債残高は、第2四半期末並みの**3,750億円**となる見込み。

■連結業績予想

■主要セグメントの内訳

・運輸業

単位:百万円、%		2019通期 実績	2020通期 業績予想		増減	率	
			上期実績	下期予想			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
鉄道事業	営業収益	82,424	23,710	30,689	54,400	△ 28,024	△ 34.0
	営業利益	14,744	△ 6,608	△ 1,691	△ 8,300	△ 23,044	-
バス事業	営業収益	50,242	15,476	20,023	35,500	△ 14,742	△ 29.3
	営業利益	2,939	△ 6,234	△ 2,865	△ 9,100	△ 12,039	-
タクシー事業	営業収益	28,422	9,994	12,905	22,900	△ 5,522	△ 19.4
	営業利益	237	△ 2,558	△ 841	△ 3,400	△ 3,637	-
運輸業	営業収益	161,089	49,181	63,618	112,800	△ 48,289	△ 30.0
	営業利益	17,921	△ 15,401	△ 5,398	△ 20,800	△ 38,721	-

・流通業

単位:百万円、%		2019通期 実績	2020通期 業績予想		増減	率	
			上期実績	下期予想			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
ストア業	営業収益	37,425	17,744	17,555	35,300	△ 2,125	△ 5.7
	営業利益	245	239	60	300	54	22.1
百貨店業	営業収益	25,351	9,510	12,089	21,600	△ 3,751	△ 14.8
	営業利益	10	△ 204	△ 95	△ 300	△ 310	-
その他	営業収益	5,544	2,180	2,519	4,700	△ 844	△ 15.2
	営業利益	133	△ 14	△ 85	△ 100	△ 233	-
流通業	営業収益	68,321	29,435	32,164	61,600	△ 6,721	△ 9.8
	営業利益	389	21	△ 121	△ 100	△ 489	-

・不動産業

単位:百万円、%		2019通期 実績	2020通期 業績予想		増減	率	
			上期実績	下期予想			
		①	②	③	④=②+③	⑤=④-①	
賃貸業	営業収益	13,786	7,319	7,280	14,600	813	5.9
	営業利益	7,235	4,043	3,956	8,000	764	10.6
販売業	営業収益	6,585	1,267	5,832	7,100	514	7.8
	営業利益	932	△ 52	252	200	△ 732	△ 78.5
管理業	営業収益	4,276	2,071	1,528	3,600	△ 676	△ 15.8
	営業利益	279	104	△ 4	100	△ 179	△ 64.2
不動産業	営業収益	24,648	10,657	14,642	25,300	651	2.6
	営業利益	8,446	4,095	4,204	8,300	△ 146	△ 1.7

■鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

■実績(第2四半期)

単位:千人、百万円、%		2019.2Q 実績	1Q (4~6月)		2Q (7~9月)		2020.2Q 実績	増減	率
			②	前年比	③	前年比			
		①					④=②+③	⑤=④-①	
輸送人員	定期	91,001	32,447	△27.6	35,266	△23.7	67,713	△ 23,288	△25.6
	定期外	62,229	13,605	△56.0	20,384	△34.9	33,989	△ 28,240	△45.4
	うち成田空港発着	(11,542)	(1,549)	(△72.1)	(1,866)	(△68.8)	(3,415)	(△8,127)	(△70.4)
	うち有料特急	(3,169)	(174)	(△88.9)	(272)	(△83.0)	(446)	(△2,723)	(△85.9)
	計	153,230	46,052	△39.2	55,650	△28.2	101,702	△ 51,528	△33.6
旅客運輸収入	定期	11,249	4,175	△24.3	4,295	△25.1	8,471	△ 2,778	△24.7
	定期外	22,860	3,327	△70.5	5,157	△55.5	8,485	△ 14,374	△62.9
	うち成田空港発着	(11,225)	(730)	(△86.6)	(1,057)	(△81.7)	(1,788)	(△9,436)	(△84.1)
	うち有料特急	(3,038)	(122)	(△91.8)	(181)	(△88.2)	(304)	(△2,733)	(△90.0)
	計	34,109	7,503	△55.3	9,453	△45.4	16,956	△ 17,153	△50.3

■連結業績予想(通期)

単位:千人、百万円、%		2019通期 実績	上期実績		下期予想		2020通期 業績予想	増減	率
			②	前年比	③	前年比			
		①					④=②+③	⑤=④-①	
輸送人員	定期	173,808	67,713	△25.6	72,640	△12.3	140,353	△ 33,455	△19.2
	定期外	119,014	33,989	△45.4	48,799	△14.1	82,788	△ 36,226	△30.4
	うち成田空港発着	(21,717)	(3,415)	(△70.4)	(6,627)	(△34.9)	(10,042)	(△11,675)	(△53.8)
	うち有料特急	(6,079)	(446)	(△85.9)	(999)	(△65.7)	(1,445)	(△4,634)	(△76.2)
	計	292,822	101,702	△33.6	121,439	△13.0	223,141	△ 69,681	△23.8
旅客運輸収入	定期	21,702	8,471	△24.7	8,824	△15.6	17,295	△ 4,406	△20.3
	定期外	43,510	8,485	△62.9	14,350	△30.5	22,835	△ 20,674	△47.5
	うち成田空港発着	(21,177)	(1,788)	(△84.1)	(4,918)	(△50.6)	(6,707)	(△14,470)	(△68.3)
	うち有料特急	(5,843)	(304)	(△90.0)	(885)	(△68.4)	(1,190)	(△4,653)	(△79.6)
	計	65,213	16,956	△50.3	23,174	△25.5	40,131	△ 25,081	△38.5

(注)輸送人員:千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入:百万円未満を切り捨てて表示しております。

以上